

学校名	開田中学校	
ホームページURL http://www.cnet-kiso.ne.jp/k/kadachu/index.htm	生徒数 58名	
(1) テーマ 地域に根ざした「総合的な学習の時間」は どのようにあったらよいか。 ～新教育課程への円滑な移行を 願った試行について～  テーマの分類( ) 下記の欄外記載事項を参照してください。	(2) 活動の単位に をつけてください  学級・同一学年・3～4年 5～6年・学校・ その他( 学年縦割り集団 ) 該当学年 中学 1, 2, 3 年 ( 回答可能な場合 )	
(3) 活動のねらい(「郷土」グループ10名) 乾燥させたそばを、工夫し協力しながら脱穀する体験を通して、主体的に取り組む態度や 収穫する技能を養う。		
(4) 活動の実際(活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等)		
1, そばの脱穀の仕 方を考え活動の準備 をする。  《そばについて調べ る》	<p>A: 今日ではそばの脱穀だけれど、どのようにやったらいいか、みんなに意見を出してもらいたい。</p> <p>B: そばアレルギーだからそばに関することを調べてみよう。</p> <p>何をどのように調べるかを本人に任せていく。インターネット利用の希望があったら使用できるように配慮しておく。</p> <p>C: 振るいがいる。 D: Cと一緒に準備する</p> <p>E: シートがいる。 F・G: Eと一緒に準備する。</p> <p>H: そばの実の入れ物がある。 倉庫から準備する。</p>	
2, 脱穀をする。	<p>全員: 干して乾燥させてそばを畑から持ってくる。</p> <p>C・H・D: 昨年度の経験を思い出し、他の生徒にやり方を教えたい。</p> <p>どうやったら、きれいにそばの実だけをふるい分けられるか自分たちで考え、工夫させる。</p> <p>収穫量が少ないことに気付いてきた生徒たちに、一粒も無駄にできないという気持ちを、こぼれた実を拾いながら大事にさせる。</p> <p>全員: こぼれたそばの実を協力して拾い無駄にたくない。</p>	
3, 用具の片付けを する。	<p>C・D: 協力して振るいを片付けよう。</p> <p>E・F・G・A: 協力してシートを片付けよう。</p> <p>H: 収穫したそばの実が入った入れ物を片付けよう。</p>	
4, 今後のそばの利 用法を考える。	<p>E・F・G・C: 食べてみたいけど、これだけじゃ少なすぎるよ。どうする、困ったな。</p> <p>A: そば粉を少し買って、そばを打ってみたい。</p> <p>I・J: そばを打ってみたい。</p> <p>実際にそば打ちをするには、何が必要になってくるのか考えさせる。</p> <p>B: そばについて調べたことを、みんなに見てもらいたい。</p>	
5, 学習カードに 感想を記入	<p>全員: 本時の活動を振り返り、感想を記入する。</p>	
時数( 2 )		
(5) 指導体制(校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等) ・指導教諭2名		

・そばの栽培からそば打ち、試食に至るまで、地域のそば栽培者、そば打ち職人、おそば屋さんの方々に至るまで、全面的な協力をいただいている。

(6) 指導上の留意点（時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等）  
・そば栽培の年間予定を見通した上で、時期に応じて時数を調整している。

(7) 評価（基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際）  
・具体的な方針、方法、システム等は未設定。

(8) 成果と課題  
・地域の特産物に関する理解が、実体験により深まっている。  
・更に地域との結びつきを深めるための方策を考えていきたい。

テーマの分類 横断的・総合的な課題（  
ーア 国際理解 ーイ 情報 ーウ 環境  
ーエ 福祉・健康 ーオ その他） 児童生徒の興味・関心に基づく課題 地域や  
学校の特色に応じた課題